



へだのシェアハウス「5071」整備事業

郷内 高志

達成度
70%

事業目的 戸田地区にて、移住を希望しつつも決断に踏み切れない移住希望者を対象に、トライアルで移住体験を提供する施設を整備し、戸田地区への移住もしくは空き家の購入を検討する足掛かりとなるサービスを提供します。1階ではコミュニティスペースを設置して移住希望者と地域住民との交流の場を整備し、2階に移住希望者向けのシェアハウス型賃貸住居を整備します。

現状と目標 美しい景観や海の色、山々の緑と人々の温かさ。好条件が揃った戸田地区へは、少なくない移住したいの声が集まっています。しかしながら、戸田地区は賃貸物件や中古物件の情報が少なく、移住を考える方、空き家の購入に前向きな方の大きなハードルの1つとなっています。そこで、地域おこし協力隊としての活動の中で得た空き家の情報や戸田地区での暮らしを提供しつつ、シェアハウスを通じて戸田生活を実体験してもらい、移住や空き家購入へのハードルを少しでも低くすることにより、現在地域の問題となっている高齢化、空き家問題の解決へと繋げて行きます。

活動と成果 シェアハウスは3部屋を作るために各部屋を仕切りフローリング化を実施、各部屋へ鍵付きのドアを設置し、シェアハウスとして最低限の内装工事を完了させることが出来ました。その後、ベッドや机などの備品を揃え、共用のリビングやキッチンなどにも備品を揃えました。2023年7月からは新規入居者が、10月中旬からももう1名の入居者が予定され、事業のスタートとしては上々の発進かと思われまます。



振り返り課題 当初予定していた2023年3月の事業開始が6月からとなってしまった。現状シェアハウスとして運営に関する最低限の設備は導入出来た。入口などの内装工事が一部残っているため、適宜進めていく必要がある。

戸田地区やその周辺地域への移住を考えている方へ向けてSNSなどで発信していく。戸田地区での体験事業（農産物の収穫やSUP、カヤック体験）と協力して戸田の素晴らしさを体験しつつ、移住への足掛かりを作る。

相関図

